

STEPⅠ：リスク分析

📄 手引きp.7

No	種別	拠点名称	拠点住所	避難場所	地震の震度	津波高・到達時間	洪水：浸水深	土砂災害	その他 （全社共通リスク）
1									
2									
3									
4									
5									
6									

「地震の震度」及び「津波高・到達時間」は、「宮崎県地震・津波及び被害の想定について」の「市町村別最大震度一覧」（P.11、P.6～P.8）（https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/4579/4579_20200318114347-1.pdf）から確認して記入。
「洪水：浸水深」は、「宮崎県管理河川の洪水浸水区域図について」（<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kasen/kurashi/shakaikiban/kouzuishinsui.html>）から確認して記入。
「土砂災害」は、宮崎県「土砂災害警戒区域等マップ」（<https://www.sabomap.jp/miyazaki/>）から確認して記入。

＜新型コロナウイルスのリスク分析＞

📄 手引きp.8

（１）３密となりやすい場所・時間帯

主管部門	３密となりやすい場所	３密となりやすい時間帯

（２）欠勤者増の場合に補充が必要な業務

--

（３）サプライチェーン問題（特に海外での生産、調達がある場合）

商品	生産拠点	調達先会社

（４）需要の減少

事業	考えられる要因

STEPⅡ：目標設定

📄 手引きp.9

在宅勤務 ○：可能、△：一部可能、×：不可

No	部門	優先業務	目標復旧時間	在宅勤務	社内リソース	社外リソース
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

STEPⅢ①：戦略検討A リソース別対応戦略

📄 手引きp.10

○：できている、△：できていないところがある、×：できていない

No	リソース	現地での復旧戦略 ＜建物は無事だが様々なリソースに被害が発生＞			現地での復旧戦略以外の戦略（代替戦略等） ＜建物が損壊して使用不能となるほどの状況＞		
		あるべき姿	現状	現状、できていること／いないこと	あるべき姿	現状	現状、できていること／いないこと
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							

STEPⅢ②：戦略検討B 優先業務の対応戦略（あるべき姿）

📄 手引きp.11

No	各部門で優先して実施する業務	現地での復旧戦略 ＜建物は無事だが様々なリソースに被害が発生＞	現地での復旧戦略以外の戦略（代替戦略等） ＜建物が損壊して使用不能となるほどの状況＞
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

👉手引きp.12

1. 基本方針 事業中断をもたらす事態が発生した場合には、以下の基本方針に則り対応する。

1	
2	
3	

2. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。
(代行者)	
本社機能維持責任者	安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。
(代行者)	
事業継続責任者	重要事業の継続に関する実務を指揮する。
(代行者)	

3. 重要事業、目標復旧時間

重要事業	
目標復旧時間	

👉手引きp.13

4. 対応手順（初動）

(対策本部を立ち上げ、以下の手順で対応を実施します。)

①避難（含む事業所内のお客様の安全確保）

基準	
避難場所	

③安否確認

基準		確認方法①	
対象者	総計 人（ 年 月現在）	確認方法②	
集計担当者		確認方法③	

※夜間・休日に事業中断をもたらす事態が発生した場合の対応

参集メンバーは事業中断をもたらす事態発生後、安全に移動できることが確認でき次第（火災等が発生していない、夜間でない 等）、定められた場所に参集し、災害対応を行う。

参集メンバー	
参集場所	代替場所:

統括責任者

① 状況確認

[illegible]

② 帰宅許可

基準	
対象者	
留意点	
の残留 対応者	

③備蓄品の状況（複数事業所がある場合は別紙とする）

[illegible]

※飲料水（一人1日3リットル）と食料は最低3日分、できれば7日分を準備しましょう。

👉手引きp.14

記入例は、ピーク時(2022年当時)の「業種別ガイドライン(内閣官房)」を参考に作成しています。

＜新型コロナウイルスの感染拡大防止対応＞

①従業員の健康管理

出勤前 自宅待機・療養	
勤務中	

②勤務体制

勤務体制		
通勤手段		
出張	国内	
	国外	

③感染防止策

飛沫感染 防止	3密の 回避	身体距離の確保	
		換気の徹底	
		施設内混雑の緩和	
	飛沫防護		
接触感染 防止	清掃・消毒		
	接触の回避		
その他の感染症予防策			

(1)事業中断をもたらす事態発生直後
直後から可能な限り速やかに

(2) 初動対応

☞手引きp.14

5. 対応手順（事業継続）

重要事業の継続

統括責任者

事業継続
担当

<メンバー>

対応手順		

発生後の対応戦略（現状で出来ること）☞手引きp.15

NO	各部門で優先して実施する業務	現地での復旧戦略<建物は無事だが様々なリソースに被害が発生>	現地での復旧戦略以外の戦略（代替戦略等）<建物が損壊して使用不能となるほどの状況>
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

☞手引きp.16

<新型コロナウイルスの事業継続戦略>

①作業空間の3密を避けるための戦略

3密となりやすい 作業場所	リスク回避戦略	リスク低減戦略

②欠勤増となった重要事業への要員補充

③サプライチェーン問題（既定の調達先からの供給停止）への対応戦略

供給停止の 可能性のある商品	保有在庫での対応	代替調達先の確保による対応

④需要量減少への対応戦略

需要量減少の 可能性のある事業	余剰となる設備を活かした 新しい事業	余剰となる人員でできる 新しい事業

6. 資金調達☞手引きp.17

必要な資金	概要	予想資金（3ヵ月）	
(A) 経営維持費用	従業員への給与の支払い		万円
	買掛金の支払い		万円
	金融機関からの借入金の返済		万円
	その他		万円
(B) 災害復旧費	被災建物の復旧		万円
	被災設備の復旧		万円
	その他		万円

調達可能な資金	概要	予想資金（3ヵ月）	
(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）	(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）		万円
	(D) 回収可能な売掛金+稼働可能な事業所での売り上げ見込み		万円
			万円
			万円
			万円
必要な資金（合計）		(A) + (B)	0 万円
調達可能な資金（合計）		(C) + (D) + (E) + (F) + (G)	0 万円

7. 事前対策の実施計画（あるべき姿を実現するために今後実施すべき準備事項）☞手引きp.17

NO	リソース	実施内容	担当部署	目標期限
1				
2				
3				
4				
5				
6				